

取組みと成果

課題

(1) 市場特性を意識した商品づくり

- ・県国際経済振興機構コーディネーターや招へいバイヤーにより、県内事業者への現地ニーズや商品開発のポイント等のアドバイスを実施
- ・海外プロモーションでの試食提供等により現地の具体的嗜好を把握し、県内事業者へ情報提供

(2) 市場特性を踏まえた販路の開拓・拡大

- ・山形の強みである農産物や日本酒、加工食品等を中心に、市場開拓に向けた輸出パートナーの発掘・確保
- ・現地販売プロモーション、バイヤー招へいを実施し、新たな輸出品目の提案など、県産品の輸出拡大の取組みを促進
- ・見本市への出展や商談会の開催・出展（ハルビン商談会など）により、取引機会の創出を促進
- ・新たな輸出の取組みに意欲を持つ若手経営者に対し、準備段階から商談に至るまで一貫したパッケージ支援事業を実施（香港）
- ・新たな輸出ルートとしての越境ECに取り組む県内事業者を支援
- ・県産農産物の国別輸出アクションプラン（台湾・シンガポール・北米等）を策定し、新規輸出取組者の掘り起こしに活用

(3) 現地情報を速やかに収集できる仕組みづくり

- ・ハルビン事務所やジェトロ香港派遣職員との連携により、現地情報の収集・提供体制を整備
- ・現地コーディネーター及びアドバイザーを設置し、支援機能を強化
- ・県内金融機関の業務提携先となる現地金融機関の協力の下、現地商談会を開催（台湾、香港、タイ）



(4) ものづくり企業の海外展開支援

- ・現地の投資環境調査、取引拡大や現地人材確保を目的として東南アジアにミッション団を派遣
- ・海外取引支援アドバイザーを企業振興公社に配置、企業への指導助言を実施

- ・県ハルビン事務所（H23～）
- ・シンガポール派遣職員（H25～H30）
- ・ジェトロ香港派遣職員（H30～）
- ・ASEAN貿易コーディネーター（H27～）
- ・日中経済交流アドバイザー（H24～）
- ・韓国経済貿易コーディネーター（H27～）
- ・ロシア貿易アドバイザー・コーディネーター（H20～）

目標指標	H25	H30	H31 (目標値)
海外取引を行う県内企業数	191社	259社 (H29)	240社
県産品の輸出定番化の品目数	77件	112件	150件
県産農産物の輸出数量	227t	1,507t	1,200t

(参考) (単位:百万円)

	H25	H29	増加率
山形県貿易実態調査 輸出額	70,594	115,166	1.6倍

(5) 酒田港の国際物流拠点化の推進

- ・酒田港利用割合が低い県内陸部、近県の企業等をターゲットにしたポートセールスを官民一体で展開
- ・首都圏及び県内内陸企業向けのポートセミナーを開催
- ・継続荷主への貨物量拡大を図るとともに、酒田港利用に伴う陸送費助成による新規荷主の掘り起しを実施
- ・リサイクル貨物量の増加を目指し、酒田市及びNPO法人山形県リサイクルポート情報センターと共同でフォーラムやセミナーを開催
- ・酒田港国際ターミナルの機能強化や臨港道路の整備を推進
 - 岸壁延伸に伴うふ頭用地造成及び1号コンテナクレーンの更新・大型化等を実施

(6) 航空機の活用による国際物流の促進

- ・庄内空港を活用した小口混載による県産農産物の輸出可能性調査として、香港のレストランで需要のある農産物を調査
- ・新たな物流体制の構築を目指し、庄内空港から香港に向け、県産農産物等の小口混載による輸出可能性調査を実施



目標指標	H25	H30	H31 (目標値)
酒田港国際定期コンテナ航路貨物量	7,797 TEU	25,321 TEU	35,000 TEU

(市場特性を意識した商品づくり)

- ◆定番化や輸出品目の拡大に向けて、事業者とバイヤー等とのマッチング後のフォローアップなどきめ細かな取組みが必要
- ◆県内事業者に対する現地のニーズや輸入規制に関する情報提供の強化

(市場特性を踏まえた販路の開拓・拡大)

- ◆香港、台湾等の成熟市場では、価格や品質面で産地間競争が激しさを増しており、既存輸出ルートをもより強固にすると共に、新たな信頼できるパートナーの開拓が必要
- ◆日中関係が改善する中で、ハルビン事務所を中心に、中国での効果的・効率的な販路の開拓・拡大が必要
- ◆輸出拡大に向けて、海外取引に取り組む県内事業者の掘り起しが必要
- ◆県産農産物等の輸出量をさらに伸ばしていくためには、業務用取引の拡大が必要
- ◆インバウンドと連携した情報発信や海外の県人会・山形ファンなど人的ネットワークを活用し、県産品の認知度向上や山形ブランドのPRを強化

(現地情報を速やかに収集できる仕組みづくり)

- ◆現地活動拠点や現地コーディネーター等との連携により、現地と県内双方向での情報収集・発信の強化が必要

(ものづくり企業の海外展開支援)

- ◆取引拡大等の取組みの強化、将来の海外事業所の中核的な人材となる外国人材の確保

(酒田港の国際物流拠点化の推進)

- ◆更なる貨物量の拡大と航路拡充等の利便性向上との好循環に向け、新規荷主増加への取組み強化と近隣港に対する優位性保持
- ◆酒田港と県内陸部や太平洋側を結ぶ国道47号等の整備促進
- ◆中国における鉄スクラップ等の廃棄物の輸入規制に伴い、新たな輸出国等の検討が必要

(航空機の活用による国際物流の促進)

- ◆庄内空港を活用した小口・保冷航空輸送体系は、物量の安定確保や輸出検査機器の整備が必要